

管理医療機器 歯科合着用ガラスポリアルケノエート系レジンセメント

# アドシールド<sup>®</sup> RM



レジン強化型  
グラスアイオノマーセメント!



リン酸エステル系  
モノマー「MDP<sup>®</sup>」  
配合

POs-Ca<sup>®</sup>  
リン酸化オリゴ糖カルシウム  
配合

歯科用合着・  
接着材料 I  
**17点**



# アドシールド<sup>®</sup> RM

クラレノリタケデンタルの技術で作られた「つかいやすさ」と「接着性」を兼ねそなえたレジン強化型ガラスアイオノマーセメント!

リン酸エステル系モノマー  
MDP<sup>®</sup>

リン酸カルシウム

CIフィラー

POs-Ca<sup>®</sup>  
リン酸オリゴ糖カルシウム



リン酸エステル系モノマー「MDP<sup>®</sup>」配合

保険点数

歯科用合着・接着材料I

17点

優れたコストパフォーマンス!

1セットの使用回数

120回

デュアルキュア  
なので

余剰セメント除去のタイミングが選べます!

光照射による方法

余剰セメント1ヶ所につき、

2~5秒  
光照射



どちらの方法でも  
余剰セメントをスルッと  
除去できます。



化学硬化による方法

補綴修復物の装着後

3~4分  
保持



粉と液がなじみやすい!

液材と粉材がなじみやすく、練和がスムーズです。



操作時間に安心のゆとり

合着操作をおこなう上で余裕のある操作時間を確保しました。

●操作時間 … 2分30秒  
[条件] 練和開始から(23℃)

●硬化時間 … 5分  
[条件] 装着から(37℃)

歯質と識別しやすい色調!

練和後の色調は白色です。歯質と識別しやすいため、余剰セメントの除去が容易です。



印刷のため、実際の色調とは異なる場合があります。ご了承ください。

臭いが少ない

液材のpHを中性にすることでモノマーの加水分解\*を抑制します。

\*メタクリル酸系モノマーは酸性条件下でメタクリル酸を生成します。メタクリル酸は特有の臭いがあります。

## 製品の特長

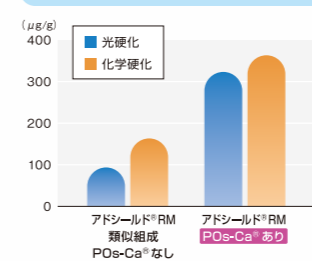
POs-Ca<sup>®</sup>  
リン酸オリゴ糖カルシウム  
配合

CIフィラー  
配合

リン酸オリゴ糖カルシウム(POs-Ca<sup>®</sup>)と独自のガラスアイオノマーフィラー(CIフィラー)の配合により、カルシウムイオンを放出します。放出されたカルシウムイオンはMDP<sup>®</sup>、ポリカルボン酸等の酸性成分とイオン反応して硬化し、接着界面の強化に寄与します。

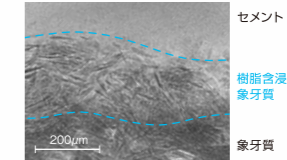
CIフィラー: Calcium Integration Filler = フルイオアルミニシリケートガラス

POs-Ca<sup>®</sup>有無でのカルシウム放出量



測定条件:  
硬化物を37℃水中に浸漬後測定。測定装置:卓上pHメータ F-55(堀場製作所)電極:フッ素複合電極 Orion 9609BNWP(サーモフィッシュサイエンティフィック)  
Ca / 硬化物を37℃水中に浸漬後測定。測定装置:卓上pHメータ F-55(堀場製作所)電極:カルシウムイオン電極6583-10C(堀場製作所)

接着境界目のTEM像

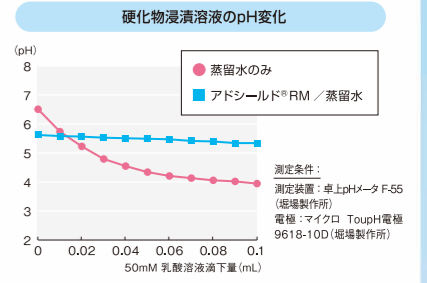


撮影条件:  
装置:電界放出形透過電子顕微鏡JEM-2100F(JEOL)、撮影カメラ:UltraScan 1000(Gatan)、倍率:12,000倍

POs-Ca<sup>®</sup>について詳しく知りたい方は、[POs-Ca](#) [検索](#)

硬化物浸漬溶液のpH変化

硬化物浸漬溶液のpH変化が少ないです。



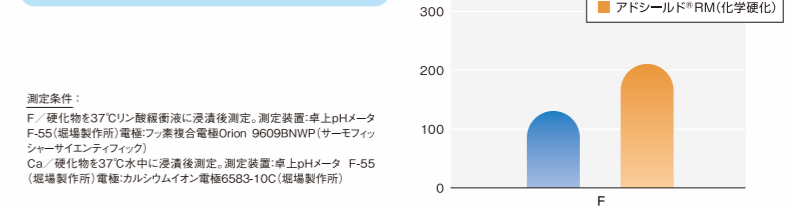
測定条件:  
測定装置:卓上pHメータ F-55(堀場製作所)電極:マイクログラフ ToughP電極 9618-10D(堀場製作所)

測定条件:  
硬化物を37℃12時間浸漬した水中に50mM乳酸を滴下しpHを測定。

フッ素  
徐放性

ガラスアイオノマーフィラー(CIフィラー)の配合によりフッ素イオンを放出します。

アドシールド<sup>®</sup> RMのフッ素イオン放出量(28日間)



測定条件:  
F / 硬化物を37℃リン酸緩衝液に浸漬後測定。測定装置:卓上pHメータ F-55(堀場製作所)電極:フッ素複合電極 Orion 9609BNWP(サーモフィッシュサイエンティフィック)  
Ca / 硬化物を37℃水中に浸漬後測定。測定装置:卓上pHメータ F-55(堀場製作所)電極:カルシウムイオン電極6583-10C(堀場製作所)

リン酸カルシウム  
配合

リン酸カルシウム(リン酸四カルシウム、無水リン酸水素カルシウム)が水と反応してハイドロキシアパタイトを生成。

テースメイト<sup>®</sup>ディセンシタイザーにも配合されているリン酸カルシウム(リン酸四カルシウム、無水リン酸水素カルシウム)を配合。水と反応してハイドロキシアパタイトを生成します。

リン酸エステル系モノマー  
MDP<sup>®</sup> 配合

リン酸エステル系モノマー「MDP<sup>®</sup>」の採用により、歯質・金属に直接接着

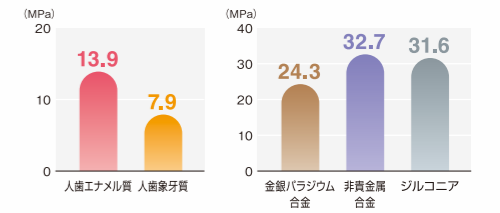
歯質 金属合金



クラレノリタケデンタルの MDP<sup>®</sup>配合製品ロゴマーク

クラレノリタケ独自のリン酸エステル系モノマー「MDP<sup>®</sup>」を配合。各種材料に対し高い接着力を示します。

剪断接着強さ



測定条件:  
#1000研削(歯質)、サンドブラスト処理面(金属、ジルコニア)  
接着面積:3mmφ(歯質)、5mmφ(金属、ジルコニア)  
マージン部へベンキュア2000にて2方向から各10秒光照射  
クロスヘッドスピード:1mm/min、測定装置:オートグラフAG-100kN(島津製作所)

## 操作ステップの概要

※添付文書の「使用用途」1) 金属、セラミックス、レジン系材料等により作製された補綴物の接着を示します。  
 ※ご使用に際しましては製品の添付文書を必ずお読み下さい。

### 1 窩洞・支台歯の前処理



適法にしたがい仮封材・仮着材を除去し、窩洞・支台歯の清掃、防湿を行います。窩洞が深い場合は、覆髄材等により歯髄を保護します。

### 2 補綴修復物の前処理



試適後、補綴修復物の添付文書にしたがい、補綴修復物を前処理します。

### 3 粉・液の計量



粉と液を計量します。標準粉液比は、表を参照ください。

	粉材	液材
インレー1個分	計量スプーン小 1杯分	1滴
クラウン1個分	計量スプーン大 1杯分	2滴



**Point**  
 (正しく計量するポイント)  
 粉は、添付の計量スプーンを用いて、すりきり1杯を計量します。液は、容器を逆さにして気泡を抜いてから、ノズルを練和紙から離して滴下します。

### 4 練和



粉の全量を液に加え、添付の練和棒を使用して20~30秒間練和します。

**Point**

ブリッジの合着など多量のセメントを練和する場合は、粉を分割して30秒から40秒程度練和します。

### 5 補綴修復物の装着・余剰セメントの除去

#### 余剰セメント除去の方法



**光重合**  
 余剰セメント1ヶ所につき、2~5秒光照射を行います。



**化学重合**  
 補綴修復物を装着し、3~4分静置します。



補綴修復物が動かないように押さえながら、半硬化した余剰セメントを探针等で除去します。

### 6 最終硬化



● 光を透過しない補綴修復物の場合  
 補綴修復物の装着後、5分(37℃)保持し化学硬化させます。

● 光を透過する補綴修復物の場合  
 添付文書を参考にして、補綴修復物全体及びマージン部に光照射を行います。1回の光照射で、光硬化させる部位全てが照射径に入らない場合は、光照射を繰り返して全ての部位に対して光照射を行ってください。

## 歯科用合着・接着材料 I

管理医療機器 歯科合着用ガラスポリアルケノエート系レジンセメント

# アドシールド<sup>®</sup> RM

医療機器認証番号：226AFBZX00077000



#### 【セット包装】

##### 1-1セット

- ・粉材 16g
- ・液材 11g(10mL)
- ・付属品：計量スプーン(RM)
- 練和紙(GI)(60枚綴り) 各1個

##### 3-3セット

- ・粉材 16g×3
- ・液材 11g(10mL)×3
- ・付属品：計量スプーン(RM)、練和棒(PN)、練和紙(GI)(60枚綴り) 各1個

#### 【単品包装】

- ・粉材 16g(計量スプーン(RM)付き)
- ・液材 11g(10mL)
- ・計量スプーン(RM)



3-3セット



粉材



液材

- データは全てクラレノリタケデンタル株式会社測定です。条件などにより数値は異なります。
- 印刷のため実際の色調と異なる場合があります
- 仕様及び外観は、製品改良のため予告無く変更することがありますので、予めご了承下さい。
- ご使用に際しましては添付文書を必ずお読み下さい。

「ティースメイト<sup>®</sup> ディセンスタイザー」 管理医療機器 歯科用知覚過敏抑制材料 医療機器認証番号：224ABBZX00014000



製品・各種技術  
 に関する  
 お問い合わせ

》クラレノリタケデンタル インフォメーションダイヤル

☎ 0120-330-922 月曜～金曜 10:00～17:00 [www.kuraraynoritake.jp](http://www.kuraraynoritake.jp)

製造販売元

**クラレノリタケデンタル株式会社**  
 〒959-2653 新潟県胎内市倉敷町2-28

販売元

**株式会社モリタ**

〒564-8650 大阪府吹田市垂水町3-33-18 TEL.(06)6380-2525  
 〒110-8513 東京都台東区上野2-11-15 TEL.(03)3834-6161  
 お客様相談センター：0800-222-8020  
<http://www.dental-plaza.com>

連絡先

**クラレノリタケデンタル株式会社**  
 〒100-0004 東京都千代田区大手町1-1-3(大手センタービル)  
 フリーダイヤル：0120-330-922